



医は仁ならざるの術、
務めて仁をなさんと欲す。

社会医療法人 玄真堂
川島整形外科病院

理事長

川島 真人

MAHITO KAWASHIMA

かわしま まひと

1969年(昭和44年)東京
医科歯科大医学部卒業。
虎の門病院、九州労災病
院を経て、1981年(昭和
56年)開院。医学博士。



『かわしまメモリアル博物館』で医療のさまざまな研究資料について説明する川島理事長。

「世」 界水準の医療を地域医療へという目標を掲げて開院し、2021年(令和3年)に創立40周年を迎える『社会医療法人 玄真堂』。「水滴は岩をも穿つ」の如く、コツコツと地道に実績を積み上げてきた川島真人理事長の思いは未来へとつながる。

回復期リハビリ棟を新設
進化する高気圧酸素治療
地域に根ざした病院を目指して

「安心、安全、心のこもったサービス」「地域の方から評価・信頼される医療」の提供を理念に歩んできた『川島整形外科病院』。数年かけて進めてきた「総合病院化計画」では新病院の建設や介護ケアセンターの整備に続き、今月、新たに回復期棟を開設することとなった。これまでは急性期の治療後は遠方に転院せざるを得なかった患者さんたちが、住みなれた地元で在宅復帰に向けてのリハビリを十分に行うことにより、当人はもとより家族の負担も軽減できると、理事長は笑顔で話してくれた。

病院経営の傍ら続けてきた潜水病と骨壊死の研究は、毎年のように国際学会で発表し、共同研究などを通して海外の研究者とのネットワークも構築してきた。川島式局所持続洗浄療法と高気圧酸素治療を併用した治療法は「川島式」と呼ばれ国内外で実践されており、さらにオゾンナノバブル水を取り入れ、難治性骨髄炎の再発を減らすなど、飽くなき探究心は尽きない。こうした姿勢は85歳まで歯科医として治療に専念し、102歳で天寿を全うした母親

ミツエさんを見て育った理事長のDNAに深く刻まれたものだ。

また、地域住民のために健康増進や疾患別予防の啓蒙活動にも力を注いでおり、定期的に「健康教室」を開いている。今、拡大している新型コロナウイルスの肺炎対策については、免疫力をアップさせることが重要で、そのためにはオリゴ糖を摂取して善玉菌を増やすことが最適だと理事長は考える。善玉菌が多く含まれる食材はゴボウや玉ねぎ、ニンニクなどが挙げられるが、中でも注目しているのは、理事長自身が演奏する楽器「ケーナ」発祥の地、アンデス地方を原産とするヤーコン芋。当地の長寿者の多さから免疫力の向上に寄与すると考えられ、美味しく味わえる調理方法も教室で紹介している。

これからも地域に根ざしながら、新しい医学に夢を持つ研究者の拠点として、理事長のたゆまぬ努力は未来へと続いてゆく。

Company data

社会医療法人 玄真堂
川島整形外科病院

中津市宮夫 17
TEL 0979-24-0464
http://kawashimahp.jp

【事業内容】
医療業(整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科、脳神経外科、放射線科)をはじめ、介護福祉業(介護老人保健施設、通所リハビリ、デイサービス、訪問看護・リハビリ、ヘルパーステーション)の運営。